

令和元年度 スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 成果発表会

「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」事業の研究指定校による、実践内容や成果等についての発表とポスター展示を行います。

日時 令和2年2月3日(月) 10:00 ~
9:30から受付

時間 会場：文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂

内容 研究指定3年目の10校と5年目の1校の発表。あわせて、20校(研究指定2年目8校、3年目10校、4年目1校、5年目1校)によるポスター展示。

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校においては、社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的で卓越した取組と実践研究が行われています。指定校の優れた教育実践とその成果を普及することで、専門高校全体の活性化を目指しています。

昭和学園高等学校(看護)

本校では社会人基礎力を備え地域社会に貢献できる看護師の育成を目指し、5年一貫看護師課程の特徴を生かした実践研究を行っています。高校課程では「豊かな人間性」「課題解決能力」の育成、専攻科ではそれらの能力を活用して地域の健康課題解決に取り組み、「社会参画力」を育成する取組を継続して行いました。



市立札幌啓北商業高等学校(商業)

本校では、『観光』、『MICE』、『国際交流』、『地域ビジネス』及び『起業家教育』の5つの分野に重点を置き、生徒が互いに協働して、地域やビジネス上の課題を見出し、解決しながら新たな価値を創ることにより、マネジメント能力を育み、社会的・職業的に自立する能力を身に付けることを目指しています。



福島県立小高産業技術高等学校(工業・商業)

地域のコミュニティ再生や地域復興を担う人材を育てる学習プログラムを工業・商業科が専門性を生かして研究開発を行い、学科間で連携した学習活動により、福島イノベーション・コースト構想に関連する知識や技術を身に付け、復興へのビジョンを持った、その実現に資する専門的職業人の育成に取り組んでいます。



東京都立新宿山吹高等学校(情報)

本校のSPH事業は「主体的な学び」「社会とつながった学び」「学びの自己評価」3つのキーワードに集約されます。多くの選択肢から一人ひとりが興味関心に合わせて学びを選択、産業界や大学、地域と連携した実践的な学びを行っています。日々の学びはeポートフォリオに記録、成長を実感できる仕組みとなっています。



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

新潟県立加茂農林高等学校（農業）

協働的課題解決能力と自己教育力を持つ自立型地域リーダーの育成を目指して、系統的で段階的なHSJカリキュラム（HOP:総合的な探究の時間で学びのレディネス形成、STEP:校内外の連携を生かした多様な力を育てる多様な学習、JUMP:課題研究で学びの集大成）を実践。農業の先端技術も学びました。



新潟県立新潟工業高等学校（工業）

「工業技術の向上に資する専門的職業人材育成プログラムの開発」をテーマに、地域連携の推進とグローバルな視点を取組の柱として、学科を横断した研究活動（エコハウス建設）や教科横断的な学習プログラムを実践し、ものづくりに関する確かな知識及び技術の修得や協働して課題を解決する力の育成を目指しています。



山梨県立甲府工業高等学校（工業）

山梨県の基幹産業である機械電子産業を担う技術者を育成するため、地元の世界的なロボットメーカー等と連携するなど、数値制御ロボット技術を活用した、論理的思考力、技術力、創造力・人間力を身に付ける取組を行っています。3年間の取組を来年度開設する専攻科に繋ぎ、地域の希望となる人材育成を目指します。



三重県立相可高等学校（家庭）

「食のプロフェッショナル」に求められる力を「技術力」「経営力」「商品開発力」「コミュニケーション力」「グローバル力」の「5つの力」とし、「5つの力」の育成計画、新たな学習プログラムの作成、その実践内容と成果を報告します。



滋賀県立八幡商業高等学校（商業）

「企業の社会的責任（CSR）を全うするプロフェッショナル人材の育成」を研究開発課題とし、近江商人についての理論的学習をはじめ、販売実習等の体験的学習をふんだんに取り入れたことで、「商業道徳」を身に付けた「三方よし」を実践できるビジネスリーダー育成のための学習プログラムを開発することができました。



愛媛県立宇和島水産高等学校（水産）

地域水産資源を活用した地方創生人材の育成を目指して、コミュニケーション力・創造力・開発力・実践力の向上を図るとともに、食品製造現場においてグローバル基準に対応した専門的な知識・技術を身に付けさせる取組を、産学官と連携して行っています。



宮崎県立高鍋農業高等学校（農業）

みやざきの発展を担う起業家スピリットとスキルを備えた農業経営者及び関連産業技術者を育成することを目的として研究に取り組みました。GAPや6次産業化など幅広い農業の形に柔軟に対応できる農業経営スキルの習得や地域社会の活力ある未来を創造できる資質・能力の育成を目指しています。



会場

文部科学省 旧文部省庁舎6階 第2講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

参加申込方法

都道府県・政令指定都市教育委員会等関係者や学校関係者、教員等を参加対象者とさせていただきます。事前申込制となっておりますので、開催案内の出席者登録票に必要事項を御記入の上、令和2年1月10日（金）までにメールにてお申込みください（会場規模の関係上、人数を調整させていただく場合があります）。

（お問合せ先）

文部科学省初等中等教育局参事官（高等学校担当）付産業教育振興室
〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL：03-5253-4111（内線2384） MAIL：sansin@mext.go.jp

